

研究部会報告



● OR/MS とシステム・マネジメント ●

- 第11回 日時：3月12日(土) 場所：東工大 出席者：20名

議題「OR/MS とシステム・マネジメント」の用語整理と今後の研究方向づけ

報告者：加藤敏雄(日本IBM), 山田善靖(産能大)

本研究部会が発足して1年を経過したので、システム・マネジメントについての研究部会メンバーの概念整理および統一のために、システム・マネジメント関連用語の整理についての提言が行なわれた。ついで研究部会運営方針および今後の研究の方向づけが討議された。

今後、しばらくの間、文献紹介という型から関連研究分野の方の講演および討議を中心にし、本部会を広い立場から位置づける必要性が論じられた。

- 第12回 日時：4月9日(土) 場所：東工大 出席者：22名

講演：“A Comparative Study of Japanese and American Decision Making” 講師 R. Doktor (ハワイ大学)

OR/MSを経営システムのマネジメントに使うという意思決定を日本人と米国人の認知の差違という視点から解説がなされた。日本人の意思決定モデルの特徴が日本の社会教育と関係あるという考え、脳の構造と意思決定の関係など、ORに対して広い視野をもつ必要が強調されていた。その後の討議でさらに報告の内容が深められた。

- 第13回 日時：5月9日(土) 場所：東工大 出席者：21名

論文紹介：“The Executive Mind and Double-Loop Learning” C. Argyris, *Organizational Dynamics*, Autumn 1982 紹介者 太田敏澄(豊技科大)

“On the Dimensions of Bureaucratic Structure” B. C. Reimann, *Administrative Science Quarterly*, 1974 紹介者 山田善靖(産能大)

アージリスの論文をもとにして、マネジャーに与えられる情報がマネージャーの考え方にどのような影響を与えるかを論じた。ライマンの論文をもとにして官僚制組織を把握する次元を検討した。

●数理計画法(関西)●

- 第4回 9月16日(金) 場所：京大会館 出席19名
テーマ：(1)「在庫管理における多目的大規模計画問題について」野村淳二, 仲島了治(松下電工)

(2)「Nonlinear Multicommodity Flows」福島雅夫(京都大学)

(1)では販売量予測を、IWSM法とGMDHを組み合わせて行ない、適正在庫量の決定を多重属性効用関数を用いて行なう方法が報告された。(2)では表記の問題の新しい効率的な解法として修正 Frank-Wolfe 法および双対問題を解く準勾配アルゴリズムなどが示された。

●意思決定のための会計情報●

- 第5回 日時：9月17日(土) 13:30~16:30

場所：日本シーディーシー(株)会議室 出席者：14名

内容：ビジネス情報処理サービス・システムの紹介

今村 達(日本シーディーシー)

各種のマネジメント・タイムシェアリング・サービスおよびデータ・ベース・サービスの紹介と、Asset Liability Management System に関する報告があった。

●未来分析●

- 第8回 日時：9月17日(土) 14:00~17:00

場所：東京都勤労福祉会館 参加者16名

議題：これからの防衛戦略, M&M戦略研 佐藤永充 さきに中川八洋氏に「安全保障の原点を考える」といったテーマで発表してもらったが、今回はまったく別の観点から防衛戦略についての分析を行なったものである。とかく防衛という問題には「タブー」がつきものであり、タブーをそのままにして分析が行なわれがちである。分析の態度としてはこのタブーにメスを入れる必要性が痛感された。

●待ち行列システム●

- 第5回 日時：9月17日(土) 14:30~17:10

場所：東工大(情報科学科会議室), 出席：17名

- QS5-1 $GI/Ek/m$ における推移行列の構造 石川明彦(東京理科大)一特に、常に待ちが存在する場合(倉庫型)の推移行列の構造の解析とその発展一

- QS5-2 衛星通信におけるトラヒック問題 三宅功(武蔵野通研)一伝送プロトコルおよび回線接続プロトコルのトラヒック問題の紹介一

- QS5-3 集団到着一般保留時間即時モデルの解析 高橋敬隆(武蔵野通研)一拡散近似一